

日頃より、ファミリーサポートセンターの活動及び、子育て支援センターの運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。今回の通信紙では、1月に実施した研修の内容を要約しています。ご一読ください。



「こども」の世界を体験しよう!



1/26、町の保健師による子育て講座で「こどもの世界を体験しよう」というテーマで子どもたちにはどんなふう日常生活がみえているか、子ども視点で考えてみようという企画を行いました。

具体例として、子どもの頭の重さが上がりました。3歳前後の子どもはほぼ4頭身。一般的に体重のおよそ約30パーセントが頭の重さだとされています。それに対して大人は7パーセント。体重50kgの成人だと、3.5kgの頭を全身で支えていることとなります。それがもし、子どもと同じ約30パーセントの比率だったとした場合、大人の頭の重さは15kgになります。素早く立ち上がることは出来るでしょうか? 「子どもの体の筋力的な成長もこれからですが、これを知ると子どもが『よく転ぶこと・立ち上がること』にもゆっくりだったりすること、色んなことに納得できると思います。」と紹介がありました。参加者から「お米の袋10kgを手で持つのも重いのに…」という声もありました。

日々の視点を少し変えて考えるだけで、子どもとの向き合い方の方法のひとつを学びました。



2歳の子どもの手の長さの平均は約10cm。大人の手の長さの平均は約18.3cm。1.8倍だそう。
 それでは、大人の手に合わせて10の牛乳パックを1.8倍サイズにすると、どうなるか…。↑写真のような大きさになり、やっと角に手を掛けられるか、どうかというものでした。中身が半分入っているけど仮定して重さも付けましたが、片手で傾けると支えるのはとても難しい!
 子どもが意図せず、「こぼす」「ひっくり返す」ことにも納得できる体験でした。

子どもの窒息・誤嚥事故を防ぐために…

節分が過ぎ、暦の上では春を迎えました。日本の伝統行事の習わしのひとつとして、節分に豆を年の数だけ食べると、その年健康に過ごせるなどありますが、2021年1月に消費者庁から「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意! 気管支炎や肺炎を起こすおそれがあります。硬い豆やナッツ類などは、5歳以下の子どもには食べさせないでください。」というお知らせが出ていることは、ご存知でしょうか。大人と同じように咀嚼をして飲み込む力が安定してつくまでは、丸くて良く滑るような食品についても、(ぶどうやミニトマトなど)4分の1サイズにカットして食べさせるようにという注意喚起もなされています。子どもは食べている途中でも遊びになってしまうことがあります。あめ玉なども座って食べきれなくなるまでは、注意が必要な食品のひとつです。子どもの育ちに寄り添い「わかること」や「出来た」の思いを十分に受けとめる社会になっていくには、「子どもの安全」についても正しく理解されることが必要です。

(裏面に消費者庁からのお知らせも印刷していますので、ご一読ください。)



※ファミサポ利用時、双方に安心して活動いただく為、まかせて
 会員さん及び両方会員さんには、支援センターが企画する
 講習会及び研修会へ参加して頂き、援助活動をしています。



申し込み・お問い合わせは…

幌延町ファミリー・サポート・センター

〒098-3221 幌延町栄町7番地2

幌延町子育て支援センター

(幌延町認定こども園内)

受付時間: 月~金 9:00~16:00

TEL/町内告知端末機: 5-1254

R5 年度会員数

(1月31日現在)

- まかせて会員…5名
 - おねがい会員…15名
 - 両方会員……………1名
- 合計 21名

R5 年度活動状況

(1月末現在)

- 利用実数~1件
- 利用内容~就労の為